

「子どもの心の問題」に関する受診理由

1. 発達の偏り(言葉の後れ、社会性の遅れなど)
2. 学習の問題
3. 不登校、引きこもり
4. 行動の問題(多動、衝動、暴力、非行、性非行など)
5. 食行動の問題(拒食、過食など)
6. チック症状・汚言、その他の常同行為(吃音、爪噛みなど)
7. 睡眠の問題(夜驚、不眠、過眠など)
8. 排泄の問題(夜尿、遺尿、遺糞など)
9. 身体疾患ではない身体症状(歩けない、手が動かない、聴力・視力の低下、頻 頻意識障害など)
10. 身体疾患であるが、心の問題や環境が症状形成に大きく影響しているもの(気管支喘息、摂食障害、円形脱毛症など)
11. 場面による緘黙(学校で話さないなど)
12. 強迫行動(手洗いが止まらない、儀式的な行動など)
13. 分離不安(親からはなれることが出来ない)
14. 予期不安、回避(近い将来への過剰な不安、ある一定の場所に近づけない、特定の人を怖がるなど)
15. 不安定な対人関係、他人への過剰な甘え
16. 解離症状(自分が自分でない感じ、記憶がない、別の人格が出てくるなど)
17. うつ状態(悲しくて涙が止まらないなど)
18. 躁状態
19. 幼児及び学童の性化行動
20. 自分の性への違和感(異性のような振る舞いなど)
21. 自傷行為
22. 自殺企図
23. 奇妙な言動、幻覚、妄想
24. 虐待を受けた体験
25. その他の恐怖体験(犯罪や事故の被害・目撃、災害、その他)
26. その他

(出典:「子どもの心の診療医」の養成に関する検討会報告書)